

磐田市

自治会連合会だより

回 覧

VOL.17

平成24年7月1日発行

発行：磐田市自治会連合会

編集：磐田市自治会連合会総務部会

連絡先

磐田市自治会連合会事務局 <市自治防災課>

☎(0538)37-4811

<http://www.iwatashi-jichikai.jp>

福田支部



福田南地区長
星野 矩昭



福田支部長
川島 安一



西部地区長
鈴木 一郎



中島地区長
平野 栄司



福田西地区長
小杉 一幸



福田東地区長
寺田 一秀



豊浜地区長
加藤 博信



北部地区長
大庭 忠雄

豊岡支部



豊岡北地区長
鈴木 正芳



豊岡支部長
田村 進治



豊岡東地区長
乗松 洋一



豊岡南地区長
仲川 勝彦

磐田支部



中泉地区長
平野 哲至



見付地区長
鈴木 誠



磐田支部長
松山 捷利



今之浦地区長
樋口 榮造



田原地区長
元場 千博



岩田地区長
成田 盛男



西貝地区長
神谷 五郎



向笠地区長
戸田 早苗



大藤地区長
鈴木 勲



南御厨地区長
藤原 孝一



御厨地区長
佐伯 紀昭

竜洋支部



竜洋西地区長
府川 光利



竜洋支部長
鈴木 新一



竜洋北地区長
大庭 佳則



竜洋東地区長
堀内 敬史

豊田支部



井通地区長
淵ノ上 次男



豊田支部長
村上 勇夫



池田地区長
金井 勝



富岡西地区長
島岡 信生



豊田東地区長
伊井 正武



青城地区長
鈴木 哲也

平成24年度の役員をご紹介します。本年度もお互いの顔が見える関係づくりで安全・安心の住みよいまちづくりの取組を進めていきます。

東日本大震災被災地を視察して

被災地「山田町・大槌町」視察
6月8日、10日

静岡県の重点支援地である岩手県山田町、大槌町を中心に、被災の状況や避難所運営、要援護者やボランティア受け入れの対応、ガレキの状況等について実際に視察することにより、地域の防災活動に役立てていくことを目的に視察をしました。

さらには、山田町観光協会で出されている物産品の購入や大槌町で被災者が協力して営業している復興食堂で昼食をとるなど、被災地を少しでも元気づけられるよう取り組みを行いました。

この視察を通して、今後、連合会として、自助・共助・公助の提案をしていきたいと考えております。

【役員の感想】

自治会連合会総務部員による
感想を紹介します。

総務部長（福田支部長） 川島 安一

宮古市田老に始まって山田町から大槌町へと被災地を歩いてきました。現地の迷惑を心配しつつ訪ねたのですが、いずれの地でも感謝の声をいただきました。それは、この災害を忘れて欲しくないとの思いからでしょうか。日本人の悪い習性で、喉元過ぎればすぐに熱さを忘れてしまう。しかし今回ばかりは、この震災の教訓をとことん活かさなければなりません。そして私達が今やらねばならないことは、住民の一人一人の防災意識を高め、命を守る防災力の向上へと結びつけることです。

田原地区長 元場 千博

視察初日、田老町スーパー堤防に着き、現場を見た時、津波の大きさ、被害の甚大さを痛感し、言葉になりませんでした。山田町、大槌町が被害壊滅状態になり、一年余経過しますが、がれき処理、復興の対応の遅れを感じました。しかし、住民、行政は復興に一生



▲津波によって破壊された田老町のスーパー堤防

懸命に取り組んでおり、早く安定生活のできることを祈る気持ちです。

天竜地区長 吉添 繁雄

人影もまばらで、家の基礎しか残っていない惨状に唖然としました。まるで何百年も前の遺跡にタイムスリップしたかのようでした。

しかし、現実はその中で暮らしている人々がいまいます。尊い人や財産、夢や希望を失くした人達が、重苦しい仮設住宅の中で暮らしています。復興には、はかりしれない困難な道のりがあり被災地の人々の心情を思わずにはいられません。そんな中で、町の職員をはじめ頑張っている人たちがいることに希望の光を感じました。



▲「復興食堂」の皆さん



▲沼崎山田町長から「津波てんでんこ」の説明



◀(上)碓川大槌町長より復興への意気込みをいただきました
(下)被災直後から職務代理者を務めた平野大槌総務部長



▲二次仮置場：破碎・選別施設



▲うずたかく積まれたがれきの山

◀がれきの放射線量を測定



▲住居は津波に流され、家の基礎しか残っていない



▲グニャグニャに曲がった手すり。現在も随所に見られる震災・津波の傷跡

田老町スーパー堤防の上、大きな声を出し合いランニングをし、通り過ぎる女子中学生のスポーツグループを見て子供たちの力強さを感じました。
「津波でんでんこ」 大声出して逃げろ！ 推進必要。

竜洋西地区長 府川 光利



▲津波被災時刻を指した大槌町役場の大時計

大槌地区長 鈴木 勲
県道沿いに町民やボランティアが飲食できる場所をと「おらが大槌復興食堂」を立ち上げた店長さんから、父親がまだ見つからないことを聞く。明るい振る舞いが余計胸を打つ。「がんばれ大槌町」いつまでも支援していきたいと思っています。

福田西地区長 小杉 一幸
壊れた堤防、土台だけが残る町並み、高く積みあがったがれきの山々、時を止めた時計、色々な辛さを胸に頑張っている人達に触れ、今、自分たちにできること、未来のためにすべきことを考えさせられる視察でした。

津波緊急避難が迅速確実に実行されるよう海岸近くから海上を観察できるテレビモニタリングシステム（遠隔監視）の早期設置が待たれる。
大槌町平野総務部長「津波来襲に暫く判断ができなかった。」



▲堤防の上を走る中学生

富岡西地区長 島岡 信生

甚大な被害を目のあたりにした私たちは、現地の皆さんの悲しさを抑えた精一杯の説明に、こみ上げる涙をこらえ聞く自分の胸は痛みました。
そして、今後も我々が忘れず支援し続けること、対岸の火事とせず、この教訓を我が『まち』にいかにかに活かすかが、視察の意義と心得る。
現地を離れる時の海は何事もなかったように美しく穏やかに風いていた。



◀お世話になった訪問先に磐田のお茶を進呈
(上)沼崎山田町長へ
(下)碓川大槌町長へ

山田町物産品の注文書を町長に渡しました。
物産品の購入を支援の一助としました ▼



▲被災した大槌町役場前で献花。残った建物が被害の大きさを伝えています

平成23年度事業・収支報告

23年度事業の一部を紹介します。平成23年3月11日に発生した東日本大震災により被災された方々と被災地の一日も早い復興を願って、4月から5月にかけて義援金活動を行いました。

6月には市に要望していた地区活動拠点が菟野地区と豊田地区に開設され、同年1月に開設した福田地区を含め、3つのコミュニティセンターが動き出しました。

8月の防犯パトロール推進大会の中で、当連合会が、防犯活動における現役世代の参加促進を図る環境づくり支援団体として、県警本部より指定を受けました。これに伴い、支援品としてLED懐中電灯をいただき、各地区の防犯活動に活用してもらっています。さらに、市家庭内の家具固定を行き渡らせるため、各自治会を通じて、家庭内の防災対策の推進に努めました。

<平成23年度 収支報告>

収 入

費 目	予算額 (円)	収入額 (円)	説 明
会 費	1,680,000	1,680,000	単位304自治会、連合会専任役員32名より会費5,000円ずついただいております。
交 付 金	9,000,000	9,015,700	市8,000千円 日赤社費交付金1,015千円
負 担 金	660,000	390,000	役員視察研修等の参加者負担金です。
前年度繰越金	1,145,287	1,145,287	
雑 収 入	713	337	預金利息等
合 計	12,486,000	12,231,324	

支 出

費 目	予算額 (円)	支出額 (円)	説 明
会 議 費	461,000	348,305	総会、三役会(年間14回)、理事会(年間10回)、各会議資料作成費等
事 務 費	2,875,000	2,614,245	役員手当、出張旅費、事務用品、傷害保険料、インターネット経費等
助 成 費	5,410,000	5,410,000	支部活動を支援し、地区活動の促進を図るため各支部に助成金を交付しています。 基本額：1自治会あたり10,000円 加算額：地区活動加算額として、1自治会あたり5,000円 また、地区安全会議の防犯活動を支援するため助成金を交付しています。 1団体50,000円×17団体
視察研修費	1,020,000	911,958	環境負荷軽減取組企業や地域における先進的な防犯活動、地域ボランティア団体における助け合い活動について視察しました。
事業部活動費	2,420,000	2,068,134	広報紙印刷代、自治会長コミュニティハンドブック印刷費、防犯・環境美化啓発ポスターコンクール実施経費、防犯パトロール用品購入費 等
負 担 金	200,000	156,500	県自治会連合会負担金 等
予 備 費	100,000	0	
合 計	12,486,000	11,509,142	

平成24年度事業計画・収支予算

「24年度事業・計画」

「安全・安心の住みよいまちづくりの取り組みを推進する」を基本方針に、次の8項目に取り組みます。

- 1 市政への関心を深め、市民の声を市政へ反映させる
- 2 安全・安心のまちづくり
- 3 地区自治会活動の推進
- 4 多文化共生社会の推進
- 5 環境美化の推進
- 6 広報活動
- 7 役員及び会員の資質向上
- 8 関連協力事業

「専門部主要事業」

〈総務部〉

- 連合会たよりの発行
- 自治会長コミュニティハンドブックの活用
- 自治会加入促進パンフレットの活用
- ホームページの充実

〈環境部〉

- 環境美化統一行動
- 環境美化ポスターコンクール
- 環境美化キャンペーン
- 環境施設等の視察研修

<平成24年度 予算>

収 入

費 目	予算額 (円)
会 費	1,690,000
交 付 金	10,600,000
負 担 金	1,230,000
前年度繰越金	722,182
雑 収 入	818
合 計	14,243,000

支 出

費 目	予算額 (円)
会 議 費	458,000
事 務 費	2,745,000
助 成 費	5,750,000
視 察 研 修 費	2,700,000
事 業 部 活 動 費	2,290,000
負 担 金	200,000
予 備 費	100,000
合 計	14,243,000

〈住民安全部〉

- 地区安全会議への助成と地区相互の情報交換会開催
- 防犯委員研修会の開催
- 防犯パトロール実施
- 防犯ポスターコンクール